

# 住宅性能表示制度の改正情報

## ① 「一次エネルギー消費量等級」における等級7及び等級8の創設

### ■日本住宅性能表示基準（抜粋）

5 - 2 一次エネルギー消費量等級	一戸建ての住宅 又は共同住宅等	等級（1、4、5、 <b>6、7又は8</b> ）による。 この場合においては、地域の区分を併せて明示する。 また、 <b>等級6、7又は8</b> にあつては、床面積当たりの設計一次エネルギー消費量（単位をMJ／（㎡・年）とする。） <b>及びエネルギー利用効率化設備（基準省令第2条第1項に定めるエネルギー利用効率化設備をいい、コージェネレーション設備を除く。以下同じ。）による設計一次エネルギー消費量の削減率（単位を%とする。）</b> を併せて明示することができる。	一次エネルギー消費量等級	一次エネルギー消費量の削減のための対策の程度
			<b>等級8</b>	<b>一次エネルギー消費量の極めて著しい削減のための対策が講じられている</b>
			<b>等級7</b>	<b>一次エネルギー消費量のより著しい削減のための対策が講じられている</b>
			(略)	

### ■評価方法基準（抜粋）

「基準一次エネルギー消費量」とは、住宅の床面積、設備等の条件により定まる、基準となる一次エネルギー消費量をいい、次の式によって算出するものとする。

$$E_{ST} = \{ (E_{SH} + E_{SC} + E_{SV} + E_{SL} + E_{SW}) \times R_E + E_M \} \times 10^{-3}$$

(略)

等級	数値
<b>8</b>	<b>0.65</b>
<b>7</b>	<b>0.7</b>
(略)	

等級6～8は、以下を明示できる

- ・床面積当たりの設計一次エネ消費量
- ・エネルギー利用効率化設備による設計一次エネ消費量の削減率

# 住宅性能表示制度の改正情報

## ①「一次エネルギー消費量等級」における等級7及び等級8の創設

「床面積当たりの設計一次エネ消費量」及び「エネルギー利用効率化設備による設計一次エネ消費量の削減率」の算定方法（例）

Webプログラム（一次エネ消費量計算結果（住宅版））  
一次エネルギー消費量計算結果(住宅版)

1. 住宅タイプの設計一次エネルギー消費量等				
(1)住宅タイプの名称(建て方)	〇〇〇〇邸(戸建住宅)			
(2)入力責任者	〇〇 〇〇			
(3)住戸の評価方法	住戸全体を対象に評価する			
(4)床面積	①床面積			
	主たる居室	その他の居室	非居室	合計
	29.81㎡	51.34㎡	38.93㎡	120.08㎡
(5)地域の区分/年間の日射地域区分	6地域 A4区分(年間の日射量が多い地域)			
(6)一次エネルギー消費量(1戸当り)			設計一次[MJ]	基準一次[MJ]
	暖房設備		11497	13383
	冷房設備		4981	5634
	換気設備		2551	4542
	給湯設備		40409	25091
	照明設備		4824	10763
	その他の設備		21241	21241
	発電設備の発電量のうち自家消費分	太陽光発電(PV)	-10563	--
		コージェネレーション設備(CGS)	-21251	--
		コージェネレーション設備の売電量に係る控除量*1	-7011	--
(7)合計	PVおよびCGSを対象とする場合		46677	80653
	CGSを対象とする場合		57240	

2. 判定		③設計一次エネルギー消費量(太陽光を除く) ※ 等級6以上の場合			
適用する基準			一次エネルギー消費量[GJ/(戸・年)]		判定結果
			設計一次エネルギー	基準一次エネルギー	
建築物省エネ法	建築物エネルギー消費性能基準	H28年4月以降	46.7	80.7	達成
		H28年4月現存		86.6	達成
	建築物エネルギー消費性能誘導基準	R04年10月以降	57.3	68.8	達成
		R04年10月現存		80.7	達成
エコまち法	エネルギーの使用の合理化の一層の促進のために誘導すべき基準	R04年10月以降	57.3	68.8	達成
		R04年10月現存		74.8	達成
	低炭素化の促進のために誘導すべきその他の基準		-26.5	51.0	達成

(1) 発電量・売電量(参考値)			
発電量[MJ]		売電量[MJ]	
コージェネレーション	太陽光発電	コージェネレーション	太陽光発電
30419	83828	9169	73265

【床面積当たりの設計一次エネルギー消費量 (E<sub>TA</sub>)】

③設計一次エネ / ①当該住戸の床面積の合計

$$E_{TA} \text{ (MJ/(㎡・年))} = E_T \text{ (GJ/年)} \times 1,000 / A_{total} \text{ (㎡)}$$

⇒ 左記の場合

$$\begin{aligned} E_{TA} \text{ (MJ/(㎡・年))} &= 57.3 \text{ (GJ/年)} \times 1,000 / 120.08 \text{ (㎡)} \\ &= 477.1 \dots \\ &= 478 \text{ (MJ/(㎡・年))} \quad \text{※ 整数未満の端数を切り上げた整数} \end{aligned}$$

【エネルギー利用効率化設備による設計一次エネ消費量の削減率 (E)】

(②利用効率化設備による設計一次エネの削減量 / ①当該住戸の床面積の合計) / E<sub>TA</sub> × 100

$$E \text{ (%) } = (E_S \text{ (MJ/年)} / A_{total} \text{ (㎡)}) / E_{TA} \text{ (MJ/(㎡・年))} \times 100$$

⇒ 左記の場合(自家消費分)

$$\begin{aligned} E \text{ (%) } &= (10,563 \text{ (MJ/年)} / 120.08 \text{ (㎡)}) / 478 \times 100 \\ &= 18.4 \dots \\ &= 18 \text{ (%) } \quad \text{※ 整数未満の端数を切り捨てた整数} \end{aligned}$$

⇒ 左記の場合(自家消費分+売電分)

$$\begin{aligned} E \text{ (%) } &= (83,828 \text{ (MJ/年)} / 120.08 \text{ (㎡)}) / 478 \times 100 \\ &= 146.0 \dots \\ &= 146 \text{ (%) } \quad \text{※ 整数未満の端数を切り捨てた整数} \end{aligned}$$